



荒尾高校 書道部 3年

林京子さん

はやし・きょうこ 1996年生まれ、一紡区在住。ことし9月まで書道部副部長を務める。趣味は舞台鑑賞と音楽鑑賞。

書道とは、書を通して精神を鍛錬し、道を開くことを意味します。手本通りに書くのではなく、文字の美しさを追求することで、自分を表現する芸術です。その奥深さに魅せられ、日々研さんに励むのが林京子さんです。

小学2年生の頃からきれいな字を書くための習字を習っていました。高校入学を機に、書道の道を歩み始めます。数ある書体の中から「隷書体（れいしよたい）の木簡」を専門にしている林さん。字形の多彩な表情と線の勢いに魅力を感じているそうです。大会では決められた時間内に楷書で書かれた漢詩を木簡にアレンジしなければならず、創造力と集中力が必要とされます。そのため、普段から木簡の手の研究に余念はありません。そのかいもあり、書道を始めからは毎年、入賞するなどめきめき頭角を現してきました。

しさなど、多くの大切なことを教えてもらいました。恩師への憧れから、将来は高校で書道の先生になりたいという夢もできました。

思うような字を書けず、しんどいときもありますが、林さんの傍にはいろいろな壁と一緒に乗り越えてきたかけがえない仲間がいます。いつも励まし合いながら、切磋琢磨してきました。彼女らも書道という芸術に魅せられ、数々の入賞を果たしてきたつわものたちです。9月に行われる県大会が林さんの高校最後の大会になります。「私にとって書道は青春の全てです。みんな悔いのないよう実力を出し切って、荒尾高校初の団体賞※をとりたい」と、意気込みを語ります。

現在、受験勉強に奮闘中の林さん。「書道を学べる芸術コースのある大学への進学を希望しています。実はノートの字は汚いので、大学では楷書を勉強したい」と、はにかみます。書道で培った精神力を武器に大学への道を切り開いていってくれるはずですよ。

※学校ごとに個人の賞の数の合計を競います。



1. 一昨年度の書道部メンバー。後列左が林さん。後列右が古閑先生（現在は御船高校勤務）。2. 2尺×8尺の紙に56文字を書きます。3. 現在の書道部メンバー。前列左から田中さん、林田さん、山本さん、野中さん。後列左から黒田先生、林さん、木村さん、松田さん、近江さん、坂下先生。小林さんは欠席。4. ことし7月、全国総文祭「いばらき総文 2014」（全国大会）に熊本県代表として出場しました。